

USBメモリーの種類

USBメモリーには、大きく2種類のコネクタの形状の製品があります。また、パソコンだけでなく、スマホやタブレットでの利用に対応したUSBメモリーやUSBメモリーとよく似た形状のUSB接続のSSDなどもあります。

① Type-AとType-Cの2種類のコネクタ形状

USBメモリーは、「Type-A」という形のコネクタを採用した製品と「Type-C」というコネクタを採用した製品があります。前者のType-Aは、USBメモリーという記録メディアが登場したときからある、多くのユーザーが見慣れたコネクタ形状です。後者のType-Cは、近年、パソコンだけでなくAndroidスマホやタブレットにも対応した新しいコネクタです。現在のUSBメモリーはType-Aの製品が多数を占めており、Type-Cのみの製品は多くありません。Type-Cの製品は、通常、Type-Aのコネクタも備える2in1タイプの製品が主流です。

USB Type-Aのコネクタ形状。縦長の形状をしており、差し込む上下の向きが合わないとパソコンなどの機器には差し込めません。写真は、アイ・オー・データ機器の「U3C-HPシリーズ」（「U3C-HPシリーズ」は、Type-A／Type-C両対応の製品）。



USB Type-Cのコネクタ形状。角が丸みを帯びており、コネクタサイズ自体がType-Aよりも小さく、上下どちらの向きでも機器に差し込めます。写真は、アイ・オー・データ機器の「U3C-HPシリーズ」。



② スマホ対応のUSBメモリーとUSB型のSSD

USBメモリーには、パソコンとAndroidスマホ／タブレット両対応の製品だけでなく、iPhoneやiPadの「Lightning端子」を備えた製品もあります。また、USBメモリーのような外観で、USBメモリー以上の読み出し／書き込み性能を備える外付けSSDも登場し、人気製品となっています。



USB Type-AとType-Cの両方に対応するだけでなく、Lightning端子も備える3in1のUSBメモリー。写真は、エレコムのMF-LGU3BBKシリーズ。



USBメモリー型の外付けSSD。一般的なUSBメモリーよりも筐体は大きくなるが、USBメモリー以上の性能が特徴。写真は、バッファローのSSD-SCTU3Aシリーズ。

③ セキュリティ機能搭載製品

USBメモリーには、セキュリティを高めるデータ暗号化機能やウイルス対策機能を標準で備えた製品もあります。機能を備えていない製品に比べると高価ですが、情報漏洩リスクを減らすことができます。



ウイルスチェックと第三者の利用を防止するためにパスワードロック機能を備えたUSBメモリー。写真はバッファローのRUF3-KVシリーズ。

バックアップアプリを導入する

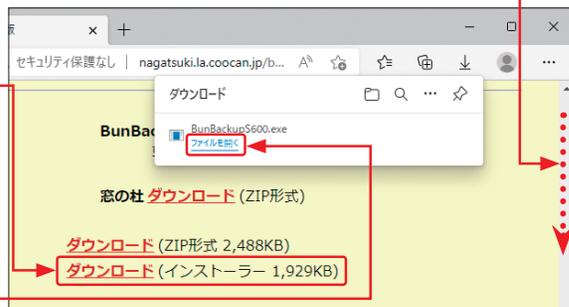
パソコン内のデータをUSBメモリーにバックアップするには、バックアップアプリをインストールする必要があります。本書では、無料で利用できるバックアップアプリ「BunBackup」をインストールします。

1 バックアップアプリをインストールする

| | |
|---------|---|
| 利用するアプリ | BunBackup |
| 配布サイト | http://nagatsuki.la.coccan.jp/bunbackup/64bit/index.htm |

- 上記配布サイトのURLをWebブラウザ（ここではMicrosoft Edge）で開きます。
- 画面をスクロールして、

- BunBackup 64bit版 Ver6.0の【ダウンロード（インストーラー 1,929KB）】をクリックします。

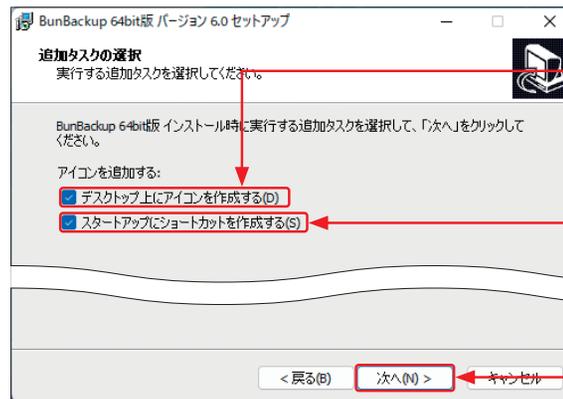
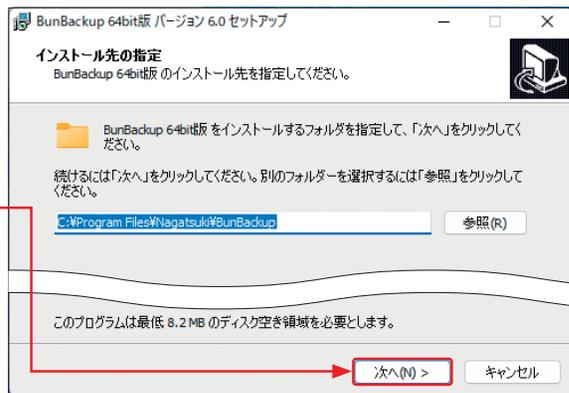


- ダウンロードが完了したら、【ファイルを開く】をクリックします。

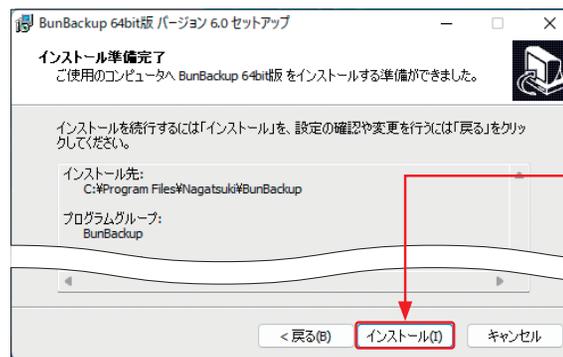
- ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、【はい】をクリックします。

- インストーラーが起動します。【次へ】をクリックし、

- 次の画面が表示されたら、再度【次へ】をクリックします。



- 8 [デスクトップ上にアイコンを作成する]のをクリックしてにし、
- 9 [スタートアップにショートカットを作成する]のをクリックしてにします。
- 10 [次へ]をクリックします。



- 11 [インストール]をクリックします。



- Memo参照
- 12 [完了]をクリックします。

Memo

[BunBackupを実行する]がオンの場合

上の手順11の次の画面で、[BunBackupを実行する]のチェックボックスをオンにしていた場合は、BunBackupが起動し、新規作成ウィザードが表示されます。P.34の手順3以降を参考に自動バックアップの設定を行ってください。

11 ホーム画面に戻ります。

12 コピーしたい場所(ここでは[画像])をタップします。

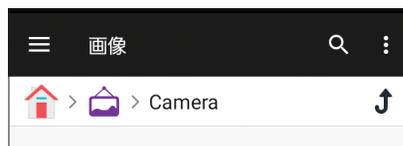
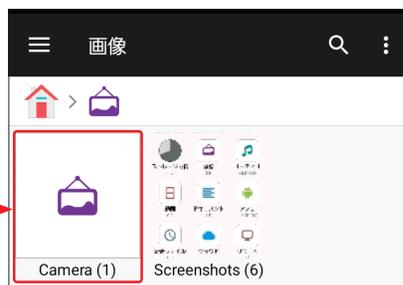


Memo

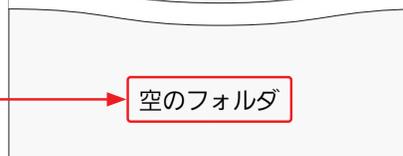
音楽ファイルをコピーする

音楽ファイルをAndroidにコピーしたいときは、手順12で[オーディオ]をタップします。

13 [Camera]をタップします。



14 フォルダ内のデータ(ここでは[空のフォルダ])が表示されます。



15 [貼り付け]をタップします。

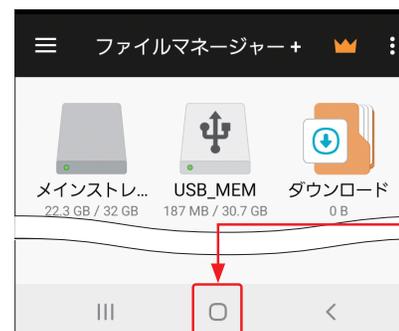


16 コピーが実行されます。

17 ファイルのコピーが完了したら、[家]をタップします。



18 ホーム画面に戻ります。



19 [家]をタップして、アプリを閉じます。

20 P.26の手順でUSBメモリーを取り外します。

2 USBメモリーを暗号化する

1 USBメモリーをパソコンに差し込みます。

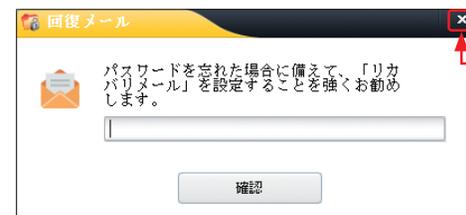
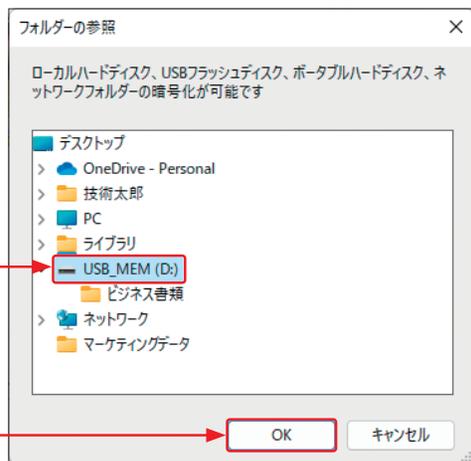
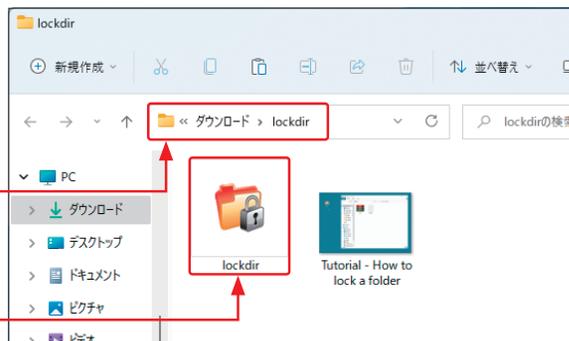
2 エクスプローラーで「lockdir」を展開したフォルダーを開き(P.121参照)、

3 「lockdir」をダブルクリックします。

4  をクリックします。

5 暗号化したいUSBメモリーのドライブまたはフォルダーをクリックします。ここでは、USBメモリーのドライブ([USB_MEM (D:)])をクリックします。

6 [OK] をクリックします。



7 パスワードを入力し、

8 再度パスワードを入力します。

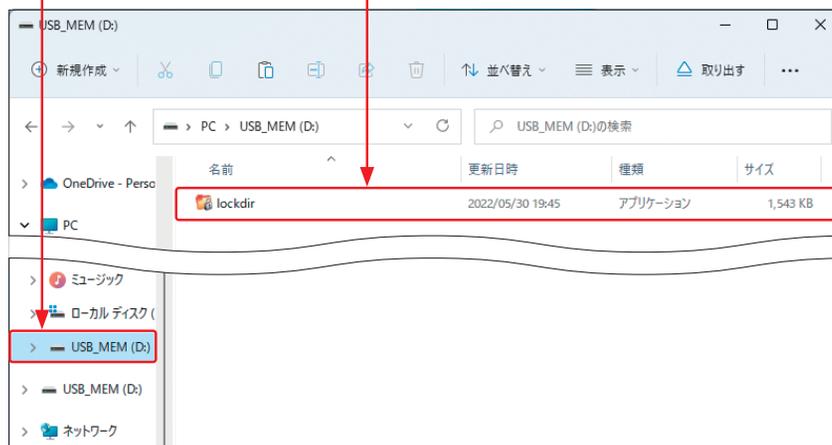
9 「暗号化」をクリックします。

10 この画面が表示されたら  をクリックすると、

11 Folder Protectorの画面が閉じて、選択したドライブまたはフォルダーが暗号化されます。

12 エクスプローラーでUSBメモリーを開くと、

13 ドライブ内にあったファイルやフォルダーが暗号化され隠されていることを確認できます。



Memo

フォルダーを暗号化する

手順5ではUSBメモリー内にあるすべてのフォルダーを暗号化していますが、フォルダーを選択すると、そのフォルダーのみを暗号化できます。

Memo

フォルダーを暗号化した場合は？

フォルダーを暗号化したときは、暗号化したフォルダーのアイコンがFolder Protectorの実行ファイル「lockdir.exe」と同じ鍵付きのアイコンに変更されます。

USBメモリーからOSを再インストールする

Windows 11 / 10の再インストール／新規インストールは、パソコンの不具合が解決できなかったときの最終手段です。Windowsのインストールは、インストール用USBメモリーから起動する必要があります。

1 USBメモリーから起動する方法

パソコンには、どのドライブから起動するか選択する「ブートメニュー」を搭載した製品が多く存在します。USBメモリーからのOSのインストールは、この機能を利用して、USBメモリーから起動し、Windowsのインストールを行います。ブートメニューは、通常、パソコンの電源をオンにすると同時に特定のファンクションキーを連打することで表示できますが、どのファンクションキーを押すかはパソコンによって異なります。パソコンの取り扱い説明書などであらかじめ調べておいてください。

主なパソコンのメーカーのブートメニュー表示キー

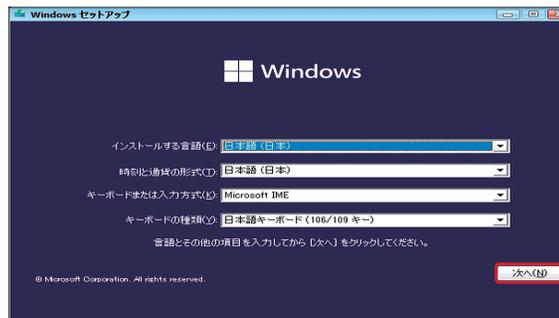
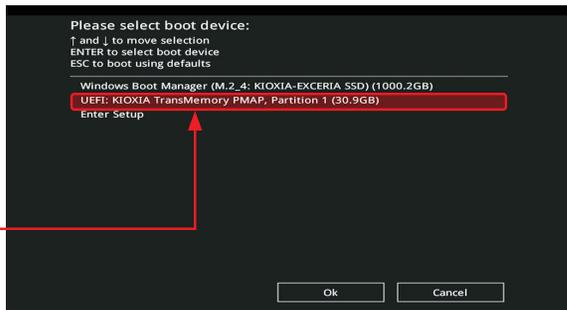
| キー | パソコンメーカー | キー | パソコンメーカー |
|------|---------------------|-------|-------------------------------------|
| [F7] | NEC、マウスコンピューター、VAIO | [F11] | マウスコンピューター |
| [F9] | HP | [F12] | Dynabook、富士通、Lenovo、Dell、マウスコンピューター |

2 OSインストール用USBメモリーからWindowsをインストールする

- 1 パソコンをシャットダウンしておきます。
- 2 Windowsのインストール用USBメモリーをパソコンに差し込みます。

- 3 パソコンの電源をオンにすると同時に、ブートメニューの表示キーを連打します。

- 4 起動するUSBメモリーを↑、↓で選択し、[Enter]を押します。

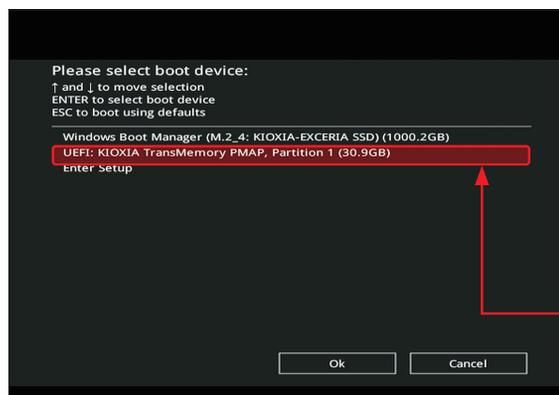


- 5 Windowsのインストール画面が表示されます。

- 6 [次へ]をクリックして、インストールを行ってください。

3 回復ドライブからWindowsをインストールする

- 1 パソコンをシャットダウンしておきます。



- 2 回復ドライブのUSBメモリーをパソコンに差し込みます。

- 3 パソコンの電源をオンにすると同時に、ブートメニューの表示キーを連打します。

- 4 起動するUSBメモリーを↑、↓で選択し、[Enter]を押します。



- 5 [Microsoft IME]をクリックします。

Memo

暗号化の画面が表示される

SSD / HDDの暗号化が有効になっているパソコンにWindowsの再インストールを行うには、暗号化を解除する必要があります。暗号化の解除方法については、パソコンの取り扱い説明書などで確認してください。